

|               |          |                   |      |      |                 |
|---------------|----------|-------------------|------|------|-----------------|
| 14mm厚品<br>M W | 1.5尺×10尺 | 下 地               | 留付方法 | 張り方向 | 木胴縁組            |
|               |          | 外張り断熱工法<br>木造軸組下地 | 釘    | 横    | 縦胴縁<br>@500mm以下 |

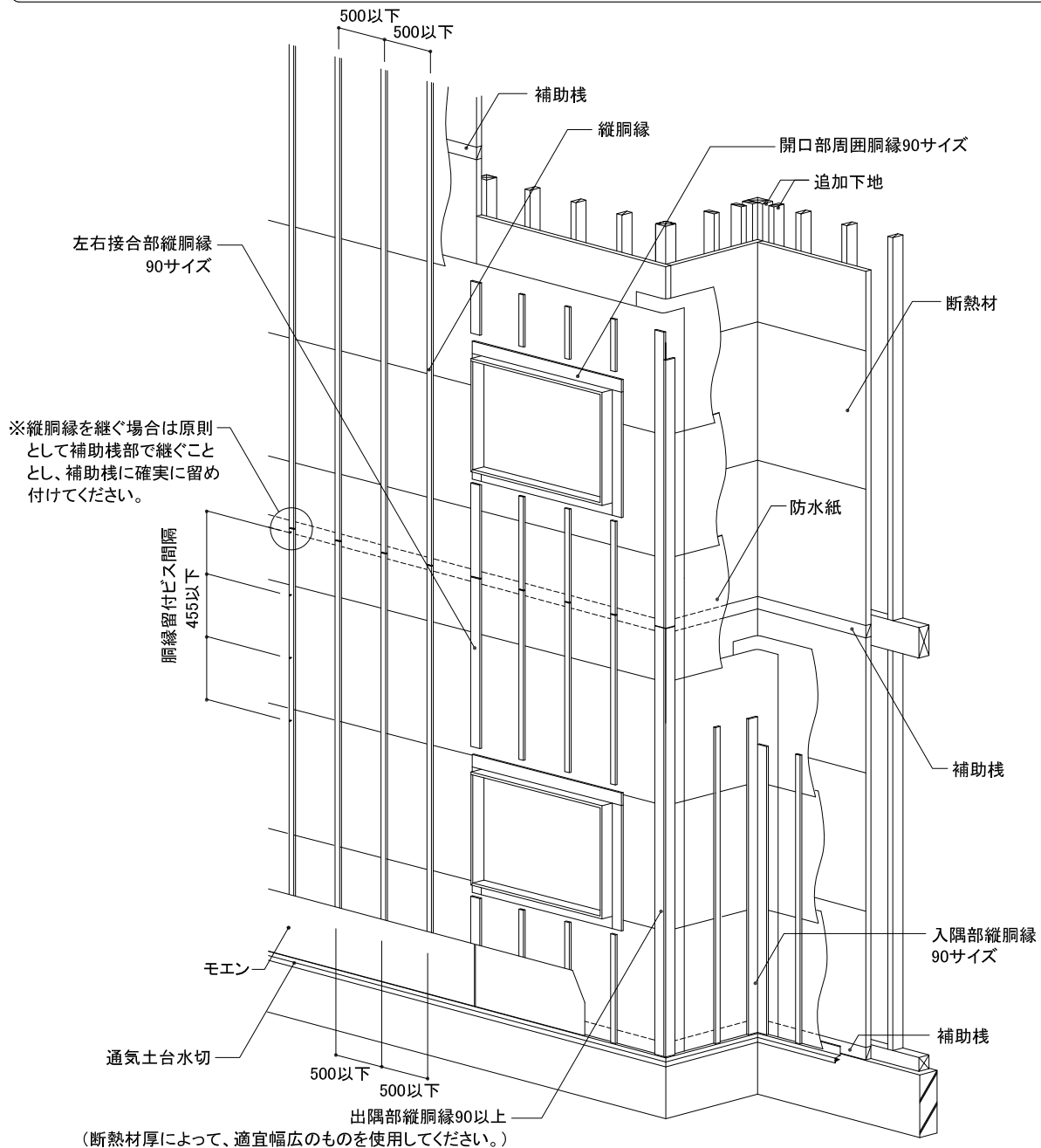
## 4-9 基本構成図・下地組図

## 14mm厚品釘打ち施工(横張り)

- 補助棧は500mm以下の間隔で、柱・間柱(軸組)または縦桼(桼組)などの構造部材に固定します。
- 通気土台水切は胴縁組みを行う前に取り付け、防水紙を上にかぶせて施工します。
- 下地組みは図のように木胴縁を組み、スギ材の場合は厚み18mm以上、ベイツガ材の場合は厚み15mm以上の乾燥材を使用し、断熱材の厚みにあわせた留付ビスで確実に躯体および補助棧部に取り付けます。
- 木胴縁の幅は45mm以上を基本とし、左右接合部、出入隅部、開口部まわりなどの指定箇所には倍幅の90mm以上を使用します。また、出隅部は、下地に確実に留め付けられるよう、断熱材の厚みにより適宜幅広の胴縁を使用します。



**注 意** 90mm幅の胴縁を留め付ける場合において、胴縁の片側が大きく反ったり傾いてしまう場合は、適宜ビスを千鳥打ちまたは増し打ちをするなどして対応してください。



**釘頭** 釘頭の補修は目立つ箇所のみとし、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布してください。